

第9表 食に関する指導について

(1) 食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」の活用状況

平成21年5月1日現在

	授業で1度でも活用したことがある学校数	授業以外で1度でも活用したことがある学校数	課題や宿題で1度でも活用したことがある学校数
小学校	86.9%	47.9%	29.3%
特別支援学校小学部	37.9%	24.1%	10.3%
合計	85.2%	47.1%	5.8%

(注)

- 1 平成20年度活用状況(平成21年5月1日現在調べ)である。
- 2 重複回答可である。
- 3 授業以外とは、「給食時の指導」「保護者会」等での学校で活用のことである。
- 4 課題、宿題は、長期休業中を含む。
- 5 食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」は、県内の全1,3,5年生に配布してある。

(2) 食に関する授業の実施状況

平成21年5月1日現在

内容 校種	担任だけで授業を実施	担任と栄養教諭 又は学校栄養職員とのTTで授業を実施	学校栄養職員が特別非常勤講師として授業を実施	地域の食の専門家の協力を得て授業を実施
小学校	71.4%	67.0%	26.6%	25.4%
中学校	37.3%	30.3%	16.4%	13.3%
公立特別支援学校	50.0%	43.8%	25.0%	3.1%
県立夜間定時制高校	17.6%	17.6%	23.5%	0.0%
合計	60.1%	54.7%	23.5%	20.9%

内容 校種	地場産の食材を 活用した授業の 実施	地域の伝統料理 や行事にちなん だ料理を活用し た授業の実施	生活科・家庭科 以外で体験活動 を伴う授業の実 施	保護者が参加し た食に関する授 業の実施
小学校	55.0%	38.3%	62.6%	37.8%
中学校	27.4%	26.6%	20.4%	9.1%
公立特別支援学校	15.6%	18.8%	43.8%	18.8%
県立夜間定時制高校	11.8%	11.8%	5.9%	0.0%
合 計	45.2%	34.0%	48.7	28.2%

(注)

- 1 学校数ベースで割合を算出している。
- 2 重複回答可である。
- 3 地域の食の専門家とは、生産者や料理、栄養等に精通した人のことである。
- 4 体験活動とは、農作物の栽培、食品の加工、調理等をさす。

(3) 食に関する指導推進のための体制作り状況

平成21年5月1日現在

	「食に関する指導全 体計画」を作成して ある	「食に関する指導年間 計画」を作成してある	近隣の学校や地域の保 健センター、公民館等 との食に関する連絡協 議会等がある
小学校	59.6%	59.9%	26.0%
中学校	40.2%	42.0%	9.7%
公立特別支援学校	56.3%	68.8%	9.4%
県立夜間定時制高校	17.6%	41.2%	5.9%
合 計	53.2%	54.5%	20.4%

(注)

- 1 学校数ベースで割合を算出している。
- 2 重複回答可である。

第10表 学校農園等の設置状況

平成21年5月1日現在

(単位：%)	学校農園が学校内に設置されている						学校農園が学校外に設置されている					
	畑			水田			畑			水田		
	100 m ² 未満	100 ~ 200 m ² 未満	200 m ² 以上	100 m ² 未満	100 ~ 200 m ² 未満	200 m ² 以上	100 m ² 未満	100 ~ 200 m ² 未満	200 m ² 以上	100 m ² 未満	100 ~ 200 m ² 未満	200 m ² 以上
小学校	40.7	18.8	12.5	18.8	1.4	0.5	6.2	6.3	9.9	3.8	3.2	8.6
中学校	21.7	3.9	1.6	0.8	0	0.5	1.8	0.8	1.8	0.5	0	0.8
公立特別支援学校	18.8	6.3	12.5	0	0	0	0	0	31.3	0	0	0
合計	34.4	12.3	8.0	11.4	1.0	0.4	4.4	3.9	6.6	2.7	2.0	5.9

(注)

- 1 単位：%
- 2 重複回答可である。
- 3 バケツ稲は除く。
- 4 借り上げている場合も含む。